

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立八千代台小学校	八千代市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立八千代台小学校	https://www.yachiyo.ed.jp/eyachiyo/gaiyo/hyouka/	

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるESD教育を推進する。第1・2学年は国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から14時間（第2学年は15時間）、言語活動科にあてる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

今後の社会の動向を踏まえると児童が社会で生き抜くためには、国際化に合わせた高いコミュニケーション能力や異文化理解能力が必要となると考えられる。そこで、「言語活動科」を第1学年から実施し、コミュニケーション能力や異文化への児童の興味・関心、能力を高めていくことで、より時代にあった能力の育成につながるものとする。

(3) 特例の適用開始日

平成25年4月1日

平成30年4月1日変更

(4) 取組の期間

令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校ホームページ，学校だより，学級懇談会，学校評議員会などを利用して，保護者及び地域住民へ取組の状況を発信している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校では、「未来をひらく人間の育成」を学校目標として，仲良く助け合う子（知り合い，考え合い，伝え合い，支え合う），考え創り出す子（わからないこと・疑問を大切にす。あきらめずに追求する。共に学ぶ。），体を鍛える子（健康でたくましい。最後まで頑張り続ける。）といった3つを児童のめざす子どもの姿として掲げ，教育活動に取り組んでいる。各教科での学習活動でも意識して取り組んでいるところであるが，外国語（言語活動科）活動においてこそ，ストレートに外国の言語，文化にふれることができ，これからの未来に必要なコミュニケーション能力の育成を図ることができている。今後も，今までの学習を継続して行うことや学習活動の工夫，改善をすることで，より一層，国際社会を生き抜く，未来をひらく人間の育成に励んでいく。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法等で示された内容を踏まえ，以下のとおり，児童への教育上の配慮を実施した。

- ア 外国語用いて，コミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにする。
- イ 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに，日本語との違いを知り，言葉の面白さや豊かさに気づけるようにする。
- ウ 日本と外国との生活，習慣，行事などの違いを知り，多様なものの見方や考え方があることを知る。

5. 課題の改善のための取組の方向性

外国人による発音を聞いたり、映像を見たりできたことで、児童の意欲が高まり、外国語学習を楽しむことができている児童の姿が多く見られた。

しかし、外国語活動への抵抗を感じている児童も少なくないのが現状である。全児童が「言語活動科」「外国語（英語）活動」「外国語」を楽しむことができることを目指し、学習活動の工夫、改善を行っていきたい。また、よりよい教育活動となるように外国語活動指導助手との打合せ時間の確保をし、児童にとって、より充実した学習活動が実践できるようにしていきたい。